



皆さんこんにちは、谷本公園の指定管理者「緑とコミュニティーグループ」です。
今回は管理方法の研修に参加したり、植物関係のイベントを行ったので、それらをご紹介します。

横浜市の研修に参加してきました！



9月末に戸塚区の池や流れがあってトンボが多く観察できる公園で、横浜市主催の維持管理研修が行われ、職員が参加してきました。ヨシの生育範囲の拡大が見られるため、どんな作業をすればトンボが過ごしやすくなるのかということ、実際に作業を行いながら教えていただきました。

研修の後には講師の方に相談して、今後どういった管理をしていったらいいのか？などのアドバイスをいただきました。実際の管理の方法にも反映できるよう、試行錯誤してみます！



こんなことを勉強してきました！

夏場に見られたハラビロトンボのヤゴは
他の種と比べて乾燥に強い



乾燥気味な谷本のビオトープに来ていたのかも？

左写真のように池の縁のヨシは残して1mだけ刈る



適度な湿度を保ちつつ、トンボが通って産卵する場所になる！

ビオトープ秋の名物

秋は植物の実りや紅葉が見られる時期ということで、秋にビオトープで見られる特徴的な植物のご紹介です。

タコノアシは例年紹介させていただいている通り、湿地系の土地を好む植物で、秋になると**茹でたタコのように赤くなります**。先端にできる実もタコの吸盤のように見えるのが特徴です。写真は微妙な色合いで、ちょっと遅かった…？ブログで動向をお知らせします。

また、水路から移植されたガマが秋になると穂をつけます。もう少しすると穂が割れて大変面白いことが起こりますので、通りがかった時に観察してみてください。



タコノアシ



一番赤い時には
こんな感じになります



ガマ

自然情報やその他日常のお知らせは、
QRコードを読み込んで谷本公園ブログへGO!

